

# きよの福 ちか福



日本作詩家協会年刊詩謡集

1973年版

きよの福 ちの福

日本作詩家協会年刊詩謡集

1973年版

# 年刊詩集のうれしさ おもしろさ

サトウ ハチロー

作詩家協会の年刊詩集です。

これ位たのしみなものはありません。

各自が、それぞれ工夫して作っていることがよくわかるからです。

三篇でも五篇でもならべられるなら、さらりとしたものや、あどけないものや、ラブソングなどをそろえて出します。ところが、たった一篇なのです。誰でも自分の味と特色が出ているものを、出します。それがおもしろいのです。

この詩集に何を出そうかと、考えぬいている人もいます。いい考えがうかんだ時に、それをひといきに唄いあげてしまう人もいます。工夫を重ねたところをわざと見せないように工夫している人もいます。

それが読んでいるとわかるから、おもしろいのです。うれしいのです。

作曲家協会の方たちとむすばれる仕事ということも、はげみになっていると思います。

自慢していい年刊詩集です。

(日本作詩家協会会長)

# もくじ

年刊詩集のうれしきおもしろさ……………	サトウ	ハチロー……………	一
何かが起きて欲しいの……………	アベ・イチロー……………		六
白い部屋……………	あかはた・元康……………		九
同棲時代……………	飛鳥浩平……………		三〇
サヨナラはいたくないの……………	飛鳥井芳朗……………		三
今日から十八才……………	相田八郎……………		三
落葉しぐれの上州路……………	青木三郎……………		三
大正生れを知らないか……………	青木繁……………		三
銀座にふる雨白い花……………	青山由美……………		三
五番街の女……………	秋田泰治……………		三
雨……………	秋月ともみ……………		三
恋の道しるべ……………	浅熊幸……………		六
ごめんなさい……………	浅野国雄……………		九
生きているから……………	浅野哲秋……………		三〇
小指に指輪を……………	芦田しげる……………		三

誰もいない町へ……………	綾部	孝夫……………	三
大学のポプラの樹……………	荒川	利夫……………	三
愛の逃避行……………	荒木	忠雄……………	三
尼僧物語……………	淡島	千佳夫……………	三
私が惚れたあの人——……………	いしの	真由美……………	三
青の時代……………	いまいずみあきら……………		三
あなたにあげる……………	井田	誠一……………	三
惜春譜……………	伊丹	将人……………	三
地の果てのブルース……………	伊吹	とおる……………	三
一番不幸な女……………	飯塚	義美……………	三
雨と私……………	筏	文絵……………	三
それでいゝなら……………	池上	信……………	三
ふる里に古い径あり……………	池田	充男……………	三
そんな昔もあったっけ……………	石井	友子……………	三
女の流れ花……………	石	一十……………	三
好き好き東京……………	石川	泰久……………	三
酔いどれ仁義……………	石田	健次……………	三
ラブ・ジャック……………	石本	美由起……………	三
決断……………	磯部	たけを……………	三
女と……………	猪膜	泰彦……………	三
酒場の女……………	茨	つとむ……………	三
ひろっちゃった恋……………	岩崎	吉太郎……………	三
ブルースを唄わないで……………	宇山	清太郎……………	三

母のいる島	鶴千	暁	壱
愛してくれてありがとう	上尾	美代志	弐
この恋に悔いはないの	植田	竹雄	参
小さい手だね	潮	ふみ子	四
謎は解かないで	宴	ゆり	五
命	船	海原	光
捨ててもいいわ	梅田	幸三	六
変	身	浦田	常・治
恋の終りの旅立ち	海老沢	孝一	七
人生太鼓	遠藤	英一	八
追憶のバラ	オマタ	ハチロウ	九
恋	辞	職	おいだ・みのと
夜明けの慕情	小川	淳	十
愛を下さい	小口	幸重	十一
バクの赤ちゃん	夢をみた	小黒	恵子
可愛い女	小野	津加佐	十二
ソーラン海峡	小野	まさあき	十三
愛の上衣を脱いで	越智	としこ	十四
俺の人生暗かった	大坂	秀次郎	十五
女の軍歌	大沢	昭男	十六
かえる天国	大竹	敏雄	十七
ちいさな坂の町	大竹	ゆきを	十八
小さな傘	大渡	弘良	十九

君	.....	大野	いくを.....	㊦
ふるざとは心の灯台	.....	大場	かんじ.....	㊦
星のかなたに	.....	大橋	哲郎.....	㊦
フランス映画を地でゆくように	.....	大村	ひろし.....	㊦
あの娘の涙	.....	大屋	哲夫.....	㊦
小舟とじいさん	.....	丘奈	さちを.....	㊦
お遍路さん	.....	岡田	壮三.....	㊦
夜明けの女	.....	岡野	宏.....	㊦
阿賀野川流域	.....	岡本	良一.....	㊦
雨降る街の白い花	.....	萩原	秀夫.....	㊦
竹生島挽歌	.....	奥野	椰子夫.....	㊦
愛が貧しい	.....	落合	良雄.....	㊦
海がわたしを呼んでいる	.....	鬼崎	知子.....	㊦
かわいそうなお父さん	.....	かねこ	ともじ.....	㊦
おんなと港	.....	かわうち	登.....	㊦
港のマリー	.....	加倉井	志保.....	㊦
うち あけ	.....	加藤	完二.....	㊦
その影は細く哀し	.....	加藤	省吾.....	㊦
中の島ブルース	.....	鹿野	里美.....	㊦
夜は始まる	.....	角海	夜詩次.....	㊦
濡つくしの女	.....	門井	八郎.....	㊦
小さな愛の別れ	.....	川合	秀夫.....	㊦
王座	.....	川村	きよじ.....	㊦

女の別れ……………	きだ・たろう……………	101
リンゴの切口 レモンの切口……………	木村 じろう……………	103
星は悲しく美しく……………	菊地 英夫……………	103
恋は不思議なもの……………	くるみ 広彰……………	104
終 恋……………	九条 高嶺……………	105
蒼ざめた部屋……………	工藤 りつお……………	106
男泣かせの子守唄……………	里白 ミノル……………	107
女ひとりの乾盃……………	ごとう としのぶ……………	108
野良犬のブルース……………	小嶋 かずひろ……………	109
男の灯り……………	小島 高志……………	110
おけらの唄……………	小林 金次郎……………	111
この恋心中……………	小林 とくさ……………	113
札幌・東京・長崎……………	五条 ユキシロ……………	113
私が死んでも……………	古神子 民夫……………	114
ここに今、ふるさとの唄が……………	郷 伍郎……………	115
それが病気で帰れない……………	越砂 温夫……………	116
露……………	越野 みのる……………	117
不思議なパパ……………	紺野 正……………	118
とことんまでやりな……………	サトウ ハチロー……………	119
嘘をつかせたのは…あなた……………	さきゆう かつみ……………	120
つよがり波止場……………	さとう・ありひろ……………	121
残 俠……………	佐久間 常夫……………	123
バラードひとつ……………	佐東 たどる……………	123



面影の人	佐藤	木章	二四
じっと見てると	佐野	和子	二五
女の子守唄	斎藤	政美	二六
生まれつき運が悪いの	酒井	国雄	二七
ふれ合う心	酒井	良之佑	二八
雨の西駅	榊原	清人	二九
愛の部屋	榊	のぼる	三〇
ラブ・マリア	坂田	溢	三一
さすらいのばら	咲山	道雄	三二
今日までの太陽	沢	みね登	三三
恋の片男波	じゅん	知央	三四
しあわせの女神さま	四賀	郷子	三五
愛の行動学	志賀	大介	三六
あなたのアルプス	斯波	一絵	三七
十和田湖を唄う・二題	清水	みのる	三八
遊びじゃないの	紫藤	孝	三九
網走子守唄	鹿倉	義一	四〇
新宿ルパン	重枝	敏夫	四一
振り返る曲り角	篠原	鑑明	四二
長崎発 鹿児島行き 最終便	柴田	よしかず	四三
青春のさすらい	柴山	かおり	四四
泣くのはいや	洪沢	登磨	四五
坐り手のない椅子	渋谷	郁夫	四六

朱	驚	島田	磬也	一四
北海三味線	島田	信義	一四	一四
それでよければ	島田	陽子	一五	一五
アロン号犬に捧げる詩	首代	千恵	一五	一五
たけくらべ	周東	敬二	一五	一五
このまま息の止まるほど	白井	喜一	一五	一五
雪どけの道	白土	やすじ	一五	一五
それでも男か	すぎ	こういち	一五	一五
権	利	須沢	玄詩	一五
恋よサヨナラ	眇田	栄一	一五	一五
泣き虫、毛虫	はさんで棄てろ	鈴木	昭一	一五
みれん網走銀の雨	鈴木	哲郎	一五	一五
ふるさとの海	鈴木	雅矢	一六	一六
青	春	鈴木	宗敏	一六
雨の嵐山	砂見	爽	一六	一六
燃えなくて	さみしくて	角田	由子	一六
またも女に	瀬川	百合子	一六	一六
一匹学入門	関沢	新一	一六	一六
京都で逢って	関戸	公明	一六	一六
北国の晩秋	千坊	さかえ	一七	一七
花よ花よ	相馬	日照	一六	一六
赤ちゃんが欲しいわ	たかぎ	かずお	一六	一六
出会	会	田中	凡オ	一七

氷の花	田畑	重喜	一七
涙がでるほど愛しくて	田淵	耕二	一三
としごろ	田村	和男	一三
未練	田村	順子	一四
この恋に	高瀬	臣子	一五
ここは 本州最北端	高橋	高威	一六
約 束	高橋	秀佳	一七
一番列車が終列車	高畑	和之	一七
あなたという人	滝川	たけお	一七
おじゃまじゃないよに待ってるわ	宅見	千香子	一八
夢は天使のハミング	谷田	幸平	一八
万葉恋唄	玉木	一史	一八
母 二人	千葉	幸雄	一八
すずらん芸者	対島	慎一郎	一八
港町のリル	塚谷	清一	一八
今日やあしたの人生じゃない	筑紫	みなも	一八
今日も雨が降る	土屋	紅	一七
おしゃれな恋	遠山	武男	一八
あんたじゃだめなのよ	徳永	みどり	一八
水島慕情	富山	紫峰	一八
流 離	富田	清吾	一八
恋のなきがら	中島	清一	一八
赤いスリッパ	中司	雅子	一八

長崎の雨	中野	惣太郎	一六四
嵐の中をあなたが逃げる	中野	芙美世	一六五
夜明け	中林	きみを	一六六
邪宗門の女	中村	あきら	一六七
ありがとう ママ	中山	かずとし	一六八
モスクワから愛をこめて	中山	邦雄	一六九
旅に出るか	中山	大三郎	一七〇
二十の夢が恋しくて	中山	中夫	一七一
二十才の原点	永井	ひろし	一七二
祇王寺幻想	成瀬	左千夫	一七三
ノーブラが いいよ	二条	冬詩夫	一七四
女が泣いた	仁木	としこ	一七五
男のみれん唄	仁礼	智男	一七六
ふるさとは 白壁の町	西沢	爽	一七七
熱い恋	西山	昌子	一七八
恋は幾何学	能勢	英男	一七九
銀座の話	野本	高平	一八〇
おんなな船	はせべ	ゆり	一八一
愛に終りがあるものか	はせやま	清美	一八二
お母さんのふるさと	はまだ	ゆきを	一八三
逢いたい思いに	橋本	守正	一八四
摂氏百度の恋	八反	ふじを	一八五
剣無情	英	玲	一八六

いっしょに花を咲かしませんか	浜	実	三七
人生男ゴマ	林	秀夫	三八
しのぶ草	伴在	主計	三九
心のしおり	播	智行	三〇
東京夫人	平井	健一	三一
未婚の女	平山	忠男	三三
Uターン・東京	藤沢	ひろし	三三
秋 二 題	藤田	まさと	三四
恋 しぐれ	藤間	哲郎	三五
ハイビスカスの咲くところ	藤村	閑夫	三六
ションボリ札幌	古市	哲夫	三七
朝もやの中を	古野	哲哉	三八
消えゆく ふるさと	北条	新太	三九
倉敷ロマン	星合	節子	三〇
夜が明けたら	星野	哲郎	三一
たそがれの 渚を歩く女	細川	憲哉	三三
木枯し仁義	本城	さとる	三三
霧の中の旅立ち	本間	繁義	三四
秋風のせいじゃない	本間	長三郎	三五
俺たちの季節	真弓田	幸一	三六
偽りの街	牧	房雄	三七
神さまは いじわるだから	牧	冬彦	三八
ゆうわくのバカンス	増子	善典	三九

十円玉がひとつ	松井	由利夫	二四〇
人生勝負	松岡	美勝	二四一
黄色いバラの置き手紙	松崎	咲子	二四二
鬼あざみ	松本	進次郎	二四三
だからいいじゃない	松本	摂子	二四四
サラリーマン三度笠	松本	英祐	二四五
火消し魂	松山	幸二	二四六
群れを離れたライオンのように	みずの	稔	二四七
泣きました	三井	徳好	二四八
羽根をきられたトンボのように	三浦	貞雄	二四九
鷗のいない海	三上	博司	二五〇
国盗り道三	三島	迫之助	二五一
くらげのつぶやき	三鷹	彰	二五二
恋にピリオド	三谷	ケイ	二五三
パパ叱らないで	三益	武司	二五四
ブランコ慕情	三宅	立美	二五五
祇園慕情	美須	史朗	二五六
おけさ恋唄	美山	鋭太郎	二五七
暗い花園	水木	かおる	二五八
母さん扉をしめないで	水紀	亜美	二五九
ものはずみに	水谷	洋子	二六〇
ノートの想い出	水野	甚太郎	二六一
君をしあわせに	港	ひろし	二六二

俺って奴	南	咏子	三六
ふりむけばそこに	南	早苗	三六
魔の季節	南	由紀	三六
あなたにはわからない	峰	よしを	三六
路を間違え	宮川	哲夫	三七
逃げだしちゃったからおしまいさ	宮沢	章二	三六
女・美しく愛らしく	宮沢	守夫	三六
ふたりの町	宮田	隆	三七
そんなわたしに	宮中	雲子	三七
バラと口笛	宮本	一哉	三七
ふたつの涙	村上	文恵	三七
旅女	村山	映子	三七
破局	室山	多香史	三七
酒をのむなら	森	めぐみ	三七
水子	森山	としはる	三七
落葉の唄	やまうち	亮	三七
闘癌日記	矢ヶ部	信次	三九
慕情の河	柳	英二	三六
別れ	山上	武夫	三六
愛の枯れ草	山上	雅人	三六
別れの風景	山口	洋子	三六
男道	山田	佳泉	三六
ホタル恋、恋	山田	輝久	三六

霧雨の女	山田	晃義	二六六
おふくろへの子守唄	山本	直	二六七
結婚のご挨拶	夢	虹二	二六八
いけない娘なの	横山	賢一	二六九
私のナガサキみなと町	吉川	静夫	二七〇
愛ひとすじ	吉田	哲也	二七一
さすらい	竜	しゅん	二七二
雨のむこうに	わたなべ	ちかお	二七三
待合室	わたべ	まちこ	二七四
シルクロードの女	若山	かほる	二七五
多摩慕情	渡辺	治	二七六
宮島ロープウェー	渡辺	真早登	二七七
続刊のよろこび	藤間	哲郎	二七八

題字 藤田まさと  
表紙「旅」佐藤昭